Tamahagane Knife 2006 Model

2006年モデルの玉鋼ナイフは、価格は控えめに、操作性を重視して、日本刀の地金の美しさ、刃文の変化を楽しんでいただけるように制作いたしました。。日本刀の心と技をお楽しみください！

刀匠　繁久

玉鋼ナイフ

A

商品記号　2006model　A

仕様　平造り　ハマグリ刃
材料　玉鋼　古鉄
刃長　１１．０cm　　全長　２２．５cm
刃文　逆丁子乱れ　高低あり　乱れ映り立つ
地金　板目に杢目交じり
柄　　ヒルト・バックストップは真鍮の毛彫り
　　ハンドル材ココロボに石目・オイル仕上げ
　　桐箱入り
価格　１８０，０００ｙｅｎ

繁久より　逆丁子乱れで匂口やわらく刃文のバランスがとてもよく、乱れ映りがたって、とても気に入っている作品です。

B

商品記号　2006model　B

仕様　菖蒲造り（ｼｮｳﾌﾞ）　ハマグリ刃
材料　玉鋼　古鉄
刃長　１１．５cm　　全長　２２．７cm
刃文　互の目　明るい
地金　小板目よくつく
柄　　ヒルト　バックストップ真鍮に毛彫り
　　ハンドル材サティーネ石目仕上げ
　　桐箱入り
価格　１８０，０００ｙｅｎ

繁久より　めずらしく菖蒲造りで切先をドロップにして品良くまとめました。ついでに表を互の目乱れ刃にして、裏は湾たれと刃と、表と裏を替えて焼いた大変欲張りな造り込みとなっています。刀では室町時代以降に時々このような造りがあり、戦国時代の武将にもこのような遊び心があったのです。

Tamahagane　Knife　2006 Model

玉鋼ナイフ　Tamahagane Knife 2006 Model

C

商品記号　2006model　C

仕様　平造り　ハマグリ刃
材料　玉鋼　古鉄
刃長　１２．０㎝　全長　２３．０㎝
刃文　逆丁子乱れ　匂い口やわらかく明るい
地金　小板目に大肌交じり
柄　　ヒルト、バックストック真鍮に毛彫り
　　ハンドル材黒檀に石目・オイル仕上げ、
　　剣巻竜を埋め込む、桐箱入り
価格　１８０，０００ｙｅｎ

繁久より　“めぬき通り”と言う言葉がありますが、その語源は刀の柄の中にある目貫からきた言葉で“主要な場所の意味”、この目釘と目貫がないと刀は使えないのです。今回その目貫をハンドルに埋め込んでみました。握った時の手のひらの中に目貫のふくらみがピッタリと納まり握りが良く、刀と同じようになっています。

D

商品記号　2006model　D

仕様　平造り　はまぐり刃
材料　玉鋼
刃長　１０．５㎝　　全長　２０．５㎝
刃文　互の目乱れ刃　帽子返り深い
地金　小板目良くつむ　大肌交じる
柄　　ヒルト、バックストック真鍮に毛彫り　鮫皮に
　　漆塗り　桐箱入り
価格　１６０，０００ｙｅｎ

繁久より　鮫皮に漆仕上げですがこのナイフの鮫皮は粒が大きくてとても良くナイフに合います。この鮫皮は３０年以上前に入手したもので、現在では入手が困難になっています。・・・・追記）“どなたかお持ちでしたら分けてください”

玉鋼ナイフ　Tamahagane Knife 2006 Model

E

商品記号　2006model　E

繁久より　小さめですが品良くまとまりシンプルで見ていて飽きないです。携帯しやすく使い易いタイプになります。

仕様　平造り　はまぐり刃
材料　玉鋼
刃長　8.4cm
全長　18.7cm
刃文　大乱刃　刃中、葉（ﾖｳ）の働入る
地金　小板目
柄　　ヒルト・バックストック真鍮に石目仕上げ　ハンドル材アフリカンブラックウッド、オイル仕上げ　桐箱入り
価格　１５０，０００ｙｅｎ

F

商品記号　2006model　F

繁久より　model Eとほぼ同じ造りですがバックストックを大きめにして、ハンドル材を石目にしてみました。
重量感があり、よりハードに使えそうな姿です。

仕様　平造り　はまぐり刃
材料　玉鋼
刃長　　８．５cm
全長　１８．５cm
刃文　大乱刃　匂深く
　　丁子交じり
地金　小板目
柄　　ヒルト、バックストップは真鍮に石目仕上げ　ハンドル材アフリカンブラックウッド、石目オイル仕上げ　桐箱入り
価格　１５０，０００ｙｅｎ

G

商品記号　2006model　G

繁久より　純和風の作品です。ヒルトがないだけでこんなに変わりました。少しラフな風格でマタギ風になりますか・・・
＊正倉院には、日本最古の刃物がありその中に無荘刀と言って外装のない直に柄を握るものがあります。時期をみて復元してみたいと思っています。

仕様　平造り　ハマグリ刃
材料　玉鋼
刃長　８．５cm
全長　１８．７cm
刃文　湾たれに互の目交じり
地金　板目　大肌交じる
柄　　アフリカンブラックウッドに藤巻漆仕上げ　桐箱入
価格　１３０，０００ｙｅｎ